

公益財団法人 循環器病研究振興財団
平成 24 年度事業報告書

平成 24 年度においては、助成事業、普及支援事業、国庫補助金事業の 3 分野の事業を行った。

【1】助成事業

(338,638 千円)

1. 公募研究助成

(11,800 千円)

(1) バイエル循環器病研究助成

(10,000 千円)

【研究テーマ】日本人における血栓止血の特異性

[応募数：13 課題]

| | 研究課題 | 研究者 | 所属・職名 | 助成交付額 |
|---|--|------|-------------------------------------|----------|
| 1 | 脳梗塞病態における酸化ストレスによる血液凝固反応亢進機構の解明 | 吾郷哲朗 | 九州大学病院 腎高血圧脳血管内科 助教 | 2,500 千円 |
| 2 | 「日本人は血栓ができにくいのか？」 新規開発の血栓形成能診断システムによる検証 | 伊藤隆史 | 鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 特任講師 | 2,500 千円 |
| 3 | 新規抗凝固薬による出血合併症の減少を目的としたモニタリング手法の開発 | 大森 司 | 自治医科大学分子病態治療研究センター 分子病態研究部 講師 | 2,500 千円 |
| 4 | モデルマウスを利用した日本人の静脈血栓症の遺伝的特異性の解明 | 坂野史明 | 国立循環器病研究センター 分子病態部 研究員 | 2,500 千円 |

《研究発表会》 平成 26 年 3 月 13 日～15 日（第 39 回日本脳卒中学会総会）開催予定

(2) 循環器疾患看護研究助成

(1,000 千円)

[応募数：9 課題]

| | 研究課題 | 研究者 | 所属・職名 | 助成交付額 |
|---|---|-------|-----------------------------------|--------|
| 1 | PCPS プライミングにおける DVD による教育効果 | 上菌恵子 | 国立循環器病研究センター 看護部 CCU 看護師長 | 200 千円 |
| 2 | 心臓外科急性看護に必要な看護実践能力の獲得に向けた参加型教育プログラムの開発 | 川口桂子 | 国立循環器病研究センター 看護部 ICU 看護師長 | 200 千円 |
| 3 | 先天性心疾患に対する手術を受けた子どもの ICU 入室中の父親の思い | 松山友可里 | 国立循環器病研究センター 看護部 ICU 副看護師長 | 200 千円 |
| 4 | 脳梗塞により rt-PA 静注療法を受けた患者の体験と看護支援の検討 | 高橋知彦 | 慶応義塾大学病院 一般集中治療室 看護師 | 200 千円 |
| 5 | 当病棟の心臓カテーテル固定板に対する実態評価～より安全安楽なカテーテル固定板の改良を目指して～ | 水野耕路 | 国立循環器病研究センター 看護部 5 階東病棟 看護師 | 200 千円 |

《研究発表会》 平成 25 年 12 月開催予定（国立循環器病研究センター内）

(3) 日本光電循環器病研究助成

(800 千円)

- 【研究テーマ】 ①モニタのバイタルサイン管理における安全管理
 ②人工呼吸器における安全管理
 ③モニタとナースコール連携における安全管理

[応募数：5 課題]

| | 研究課題 | 研究者 | 所属・職名 | 助成交付額 |
|---|--|------|-----------------------------------|--------|
| 1 | 頸部血行再建術後患者の経皮的混合血静脈酸素飽和度を用いた ADL の評価 | 氏原彰久 | 国立循環器病研究センター NCU 病棟 看護師 | 200 千円 |
| 2 | 開心術時に用いる体外式ペースメーカーへの電気メスの電磁干渉に関する基礎的研究 | 定 亮志 | 大阪市立大学医学部附属病院 臨床工学部 臨床工学技士 | 200 千円 |
| 3 | 体外式心肺補助システム維持管理中における汎用性の高い人工肺ガス相入口圧連続モニタリングシステムの作成と基礎的評価 | 西垣孝行 | 国立循環器病研究センター 臨床工学部 臨床工学技士 | 200 千円 |
| 4 | ユビキタスシステムの人工呼吸器への応用 | 湊 拓巳 | 大阪医療センター 医療技術部 臨床工学室 臨床工学技士 | 200 千円 |

《研究発表会》 平成 25 年 12 月開催予定（国立循環器病研究センター内）

2. 指定研究助成

(326, 838 千円)

(個別研究)

| | 研究課題 | 研究代表者 | 所属機関・職名 | 助成交付額 |
|---|--|-------|--|----------------------|
| 1 | 血管病変の早期診断治療における画像処理情報技術の向上に関する研究 | 飯田秀博 | 国立循環器病研究センター研究所 画像診断医学部 部長 | 9,500 千円 H27 終了予定 |
| 2 | メタボリックシンドロームの動脈硬化症の発症・進展に及ぼす影響に関する基礎的、臨床的研究 | 宮本恵宏 | 国立循環器病研究センター 予防健診部 部長 | 1,615 千円 H27 終了予定 |
| 3 | 遺伝性高コレステロール血症の病態解析、病態に関わる分子の同定と治療への応用 | 斯波真理子 | 国立循環器病研究センター研究所 病態代謝部 部長 | 900 千円 H24 終了 |
| 4 | 致死性不整脈の病態とその治療および抗不整脈の薬剤反応性に関する研究 | 鎌倉史郎 | 国立循環器病研究センター 心臓血管内科部門 不整脈科・部長 | 1,500 千円 H26 終了予定 |
| 5 | 和食の脳保護・脳精神機能改善、及び、肥満・糖脂質代謝へ与える効果の検討 | 柳本広二 | 国立循環器病研究センター研究所 分子病態部 疾患分子研究室・室長 | 7,125 千円 H25 終了予定 |
| 6 | 弓部大動脈全置換術における超低体温療法と中等度低温療法のランダム化比較試験 | 荻野 均 | 東京医科大学 外科学第二講座 主任教授 | 500 千円 H25 終了予定 |
| 7 | 二管球搭載型マルチスライス CT・320 列マルチスライス CT を用いた心筋灌流評価法の検討 | 内藤博昭 | 国立循環器病研究センター 病院長 | 1,400 千円 H26 終了予定 |
| 8 | 脊髄障害防止の観点からみた胸部下行・胸腹部大動脈瘤外科治療ないしはステントグラフト治療体系の確立 | 湊谷謙司 | 国立循環器病研究センター 心臓血管外科部門 血管外科・部長 | 950 千円 H26 終了予定 |
| 9 | 高血圧合併心房細動に対する心拍数調節治療薬としてのカルベジロールの有用性と安全性の検討 | 清水 渉 | 国立循環器病研究センター 心臓血管内科部門不整脈科 部長 | 950 千円 H24 終了 |

| | 研究課題 | 研究代表者 | 所属機関・職名 | 助成交付額 |
|----|---|-------|--|----------------------|
| 10 | 小児期肺高血圧に対する PDE 5 阻害薬の効果、安全性、薬物動態に関する研究 | 山田 修 | 国立循環器病研究センター 小児循環器・周産期部門 小児循環器科・医長 | 475 千円 H25 終了予定 |
| 11 | 心不全に対するレスベラトロールの効果に関する研究 | 安斉俊久 | 国立循環器病研究センター 心臓血管内科 部長 | 1,900 千円 H25 終了予定 |

(多施設共同研究)

| | 研究課題 | 研究代表者 | 所属機関・職名 | 助成交付額 |
|----|---|-------|-----------------------------------|-----------------------|
| 12 | 電子血圧計を用いた客観的な高血圧治療に関する研究 (HOMED-BP) | 今井 潤 | 東北大学大学院薬学研究科 医薬開発構想客附講座 教授 | 5,858 千円 H27 終了予定 |
| 13 | 虚血性心疾患における心電図同期 SPECT (QGS) 検査に関する国内臨床データベース作成のための調査研究 (J-ACCESS) | 西村恒彦 | 京都市立医科大学 特任 (名誉) 教授 | 43,004 千円 H28 終了予定 |
| 14 | スタチン製剤による心血管系への多面的作用—変性による大動脈弁狭窄進展と慢性心房細動における脳卒中に対するスタチン製剤の効果 (STACIN) | 北風政史 | 国立循環器病研究センター 臨床研究部 部長 | 13,853 千円 H27 終了予定 |
| 15 | 本邦における低用量アスピリンによる上部消化管合併症に関する調査研究 (MAGIC 研究) —心筋梗塞、脳梗塞患者などの動脈血栓塞栓性疾患を対象として— | 池田康夫 | 早稲田大学理工学術院 先進理工学部生命医科学科 教授 | 36,871 千円 H25 終了予定 |
| 16 | 脳梗塞ハイリスク例における経口糖尿病薬の脳心血管イベント—一次予防効果の検討 (PROFIT-J) | 山崎義光 | 大阪大学 先端科学イノベーションセンター 教授 | 77,806 千円 H26 終了予定 |
| 17 | 経口糖尿病薬による糖尿病からの離脱および動脈硬化抑制研究 (PREVENT-J) | 加来浩平 | 川崎医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科 教授 | 26,049 千円 H25 終了予定 |
| 18 | PCI 後の上部消化管出血ならびに潰瘍に対する発症抑制に関する研究 | 横井宏佳 | 社会保険小倉記念病院 診療部長兼医療安全管理部 部長 | 1,217 千円 H24 終了 |
| 19 | 遠隔成績からみた術後冠状動脈造影に基づいたバイパスグラフトの選択と使用方法に関する日米多施設共同研究 | 小林順二郎 | 国立循環器病研究センター 副院長 | 3,000 千円 H25 終了予定 |
| 20 | 急性脳血管症候群登録観察研究 (ACVS registry Study) | 内山真一郎 | 東京女子医科大学 神経内科 教授 | 17,001 千円 H28 終了予定 |
| 21 | 標準化された脳血流量および神経細胞密度測定に基づくバイパス手術の効果判定に関する多施設共同研究 (JET-3) | 飯原弘二 | 国立循環器病研究センター 脳血管部門脳神経外科 部長 | 2,000 千円 H24 終了 |
| 22 | 積極的脂質低下療法による不安定プラークの検討 (ALTAIR) —血管内視鏡と IVUS によるプラークの評価— | 齋藤 穎 | 医療法人博鳳会敬愛病院 理事長 | 66,500 千円 H25 終了予定 |
| 23 | 急性期脳出血への降圧を検討する第Ⅲ相国際多施設共同無作為化臨床試験 (ATACH-II) | 豊田一則 | 国立循環器病研究センター 脳血管部門 脳血管内科・部長 | 6,864 千円 H27 終了予定 |

【2】普及支援事業

(21,668 千円)

1. 研究成果発表

(2,168 千円)

(1) 研究業績集の発行

(121 千円)

前年度の指定研究助成および循環器疾患看護研究助成による研究成果をまとめて大学・研究所等へ配布

(2) 研究発表会の開催

(2,047千円)

研究発表会を開催し、前年度の公募研究助成（バイエル循環器病研究助成・循環器疾患看護研究助成・日本光電循環器病研究助成）による研究成果を発表

| | 内 容 | 詳 細 | 助成金額 |
|---|---------------------------------------|--|---------|
| 1 | バイエル循環器病研究助成研究発表会 | 平成22年度分助成対象者の研究成果を関連学会において発表 [テーマ] 血栓と脳疾患 [会 場] 第37回日本脳卒中学会総会（福岡国際会議場） [日 時] 平成24年4月27日（金）8：30～10：00 | 1,802千円 |
| | | 平成23年度分助成対象者の研究成果を関連学会において発表 [テーマ] 血栓と心疾患 [会 場] 第44回日本動脈硬化学会総会・学術集会（ヒルトン福岡シーホーク） [日 時] 平成24年7月20日（金）9：00～10：50 | |
| 2 | 循環器疾患看護研究助成（第9回） 日本光電循環器病研究助成（第1回） | 平成23年度助成対象者の研究成果を発表 [会 場] 国立循環器病研究センター・図書館講堂 [日 時] 平成24年12月15日（土）13：00～16：00 [特別講演] 「循環器看護における看護研究の意義」（神戸大学大学院保健学研究科・教授 宮脇郁子） | 244千円 |

2. 学術活動支援

(10,892千円)

循環器病に関する小規模研究、セミナー等に対する支援

(小規模研究)

(10,625千円)

| | 研 究 課 題 | 研究代表者 | 所 属 ・ 職 名 | 助成交付額 |
|---|---|-------|-------------------------------|-------|
| 1 | 中心血圧に関する追跡調査 | 河野雄平 | 国立循環器病研究センター 高血圧・腎臓科 部長 | 950千円 |
| 2 | めまいと脳卒中の関連について | 宮下光太郎 | 国立循環器病研究センター 脳神経内科 医長 | 475千円 |
| 3 | 高血圧治療におけるイルベサルタンを基軸とした降圧薬の併用療法に関する研究 | 岩嶋義雄 | 国立循環器病研究センター 高血圧・腎臓科 医長 | 950千円 |
| 4 | 高血圧治療におけるレザルタスの有効性に関する研究 | 岩嶋義雄 | 国立循環器病研究センター 高血圧・腎臓科 医長 | 950千円 |
| 5 | 生活習慣病、高血圧治療におけるオルメサルタンの有用性に関する研究 | 林 真一郎 | 国立循環器病研究センター 高血圧・腎臓科 医師 | 950千円 |
| 6 | 慢性心不全患者におけるアンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬もしくはアンジオテンシン変換酵素阻害剤投与中のレニン・アンジオテンシン動態に関する研究 | 高濱博幸 | 国立循環器病研究センター 心全部 医師 | 475千円 |
| 7 | 心電図同期心筋血流 SPECT の位相解析法を用いた左室収縮協調不全の各種評価パラメーターの正常値と診断的有用性の検討 | 木曾啓祐 | 国立循環器病研究センター 放射線部 医師 | 950千円 |
| 8 | 高血圧患者における降圧薬併用の腎機能へ及ぼす影響に関する研究 | 中村敏子 | 国立循環器病研究センター 高血圧・腎臓科 医長 | 475千円 |

| | 研究課題 | 研究代表者 | 所属・職名 | 助成交付額 |
|----|--|-------|----------------------------------|----------|
| 9 | 急性非代償性心不全の急性期治療における腎機能障害の進展に対する心房性利尿ペプチドの効果に関する研究 | 横山広行 | 国立循環器病研究センター 心臓血管内科 特任部長 | 475 千円 |
| 10 | 不整脈源生右室心筋症における心磁図を用いた伝導遅延の検討（追加研究） | 山田優子 | 国立循環器病研究センター 心臓血管内科 医師 | 475 千円 |
| 11 | 拡張性心不全の新たな非侵襲的診断法の開発：カラーMモード法の空間的・時間的分析 | 大原貴裕 | 国立循環器病研究センター 心臓血管内科 医師 | 475 千円 |
| 12 | 高尿酸血症合併高血圧患者におけるベンズプロマロンの有用性に関する検討 | 大田祐子 | 国立循環器病研究センター 高血圧・腎臓科 専門修練医 | 475 千円 |
| 13 | 高血圧患者におけるアンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬（ARB）の尿酸排泄増加作用なびに血管内皮機能に関する比較・検討 | 河野雄平 | 国立循環器病研究センター 心不全部 医師 | 950 千円 |
| 14 | エゼチミブの家族性高コレステロール血症に及ぼす有用性の検討に関する研究 | 斯波真理子 | 国立循環器病研究センター研究所 病態代謝部 部長 | 600 千円 |
| 15 | 高血圧治療におけるアンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬（ARB）利尿剤の配合剤の有用性に関する検討 | 尾崎達哉 | 国立循環器病研究センター 高血圧・腎臓科 レジデント | 1,000 千円 |

（セミナー等）

（267 千円）

| | テーマ | セミナー内容 | 助成交付額 |
|---|--------------------|---|--------|
| 1 | 第1回講習会「脳血管障害の病態理解」 | <p>[会 期] 平成25年1月20日（日）13:00～17:30</p> <p>[会 場] 国立循環器病研究センター・図書館講堂</p> <p>[講 師] 国立循環器病研究センター副院長 峰松一夫 同 脳血管内科医長 上原敏志</p> <p>[講義内容] 講習Ⅰ【脳血管障害の基礎医学Ⅰ】</p> <p>① 脳血管障害の分類とメカニズム</p> <p>② 脳血管障害の危険因子</p> <p>③ 障害部位と臨床症候</p> <p>講習Ⅱ【脳血管障害の基礎医学Ⅱ】</p> <p>① 脳血管障害の検査（画像診断など）</p> <p>② 脳血管障害の基礎疾患・合併症とリスク</p> <p>③ 脳血管障害の治療（内科・外科）</p> <p>[受講者数] 96名</p> <p>[受講料収入] @5,000×96=480,000円</p> | 267 千円 |

3. 移植医療支援等事業

（108 千円）

循環器疾患に関する移植医療の円滑な実施のための支援（アグネス基金）

4. 予防啓発活動

（8,500 千円）

（1）小冊子

（7,805千円）

『知っておきたい循環器病あれこれ』の刊行

循環器病予防啓発の小冊子を奇数月にそれぞれ1万部発行し、国立循環器病研究センター、健康保険組合、講演会などで一般市民に配布

(平成 24 年度発行分)

| No | タイトル | 著者 | 発行月 |
|----|-------------------------------------|--|--------------|
| 92 | 心筋梗塞が起こったら | 国立循環器病研究センター 心臓血管内科 部門長 安田 聡 | 平成 24 年 5 月 |
| 93 | メタボリックシンドローム その対処法 | 国立循環器病研究センター 予防健診部 部長 宮本恵宏 | 平成 24 年 7 月 |
| 94 | 上手にスムーズに治療を続けるために —脳卒中の診察連携を中心に— | 熊本市民病院 診療部長・神経内科部長・地域医療連部長 橋本洋一郎 | 平成 24 年 9 月 |
| 95 | ストレスと心臓 | 神戸労災病院 循環器病内科 部長 井上信孝 | 平成 24 年 11 月 |
| 96 | 脳梗塞の“前触れ” —一過性脳虚血発作とは?— | 国立循環器病研究センター 脳血管内科 医師 尾原知行 | 平成 25 年 1 月 |
| 97 | 脚の静脈の血行障害 —静脈瘤 | 医療法人松尾クリニック 理事長 松尾 汎 | 平成 25 年 3 月 |

(2) 機関誌『季報』の発行 (300 千円)

循環器病に関する情報の提供、財団の情報公開など

(3) ホームページの運営 (<http://www.jcvrf.jp>) (268 千円)

循環器病に関する情報の提供、財団の情報公開、助成事業の公募案内など

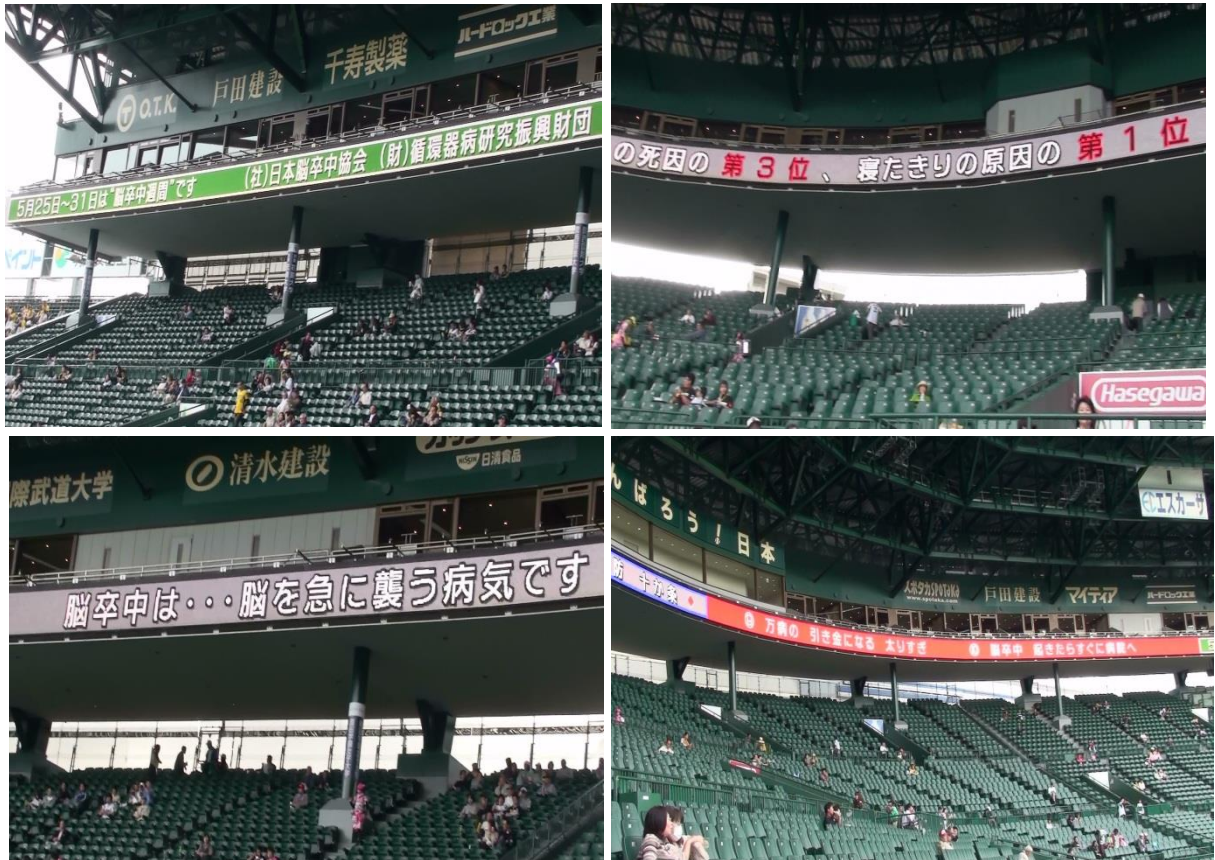
(4) 市民講座(共催) (126 千円)

一般市民を対象に循環器病予防に関する知識の普及および啓発のための講座を開催

| | 講座名 | 講師 | 共催者・日時・場所 |
|---|---|----------------------------------|---|
| 1 | [ダイワ健康セミナー] 循環器病は予防が大事 ～先手必勝の健康管理～ | 国立循環器病研究センター 予防健診部 部長 宮本恵宏 | 大和証券株式会社梅田支店 平成25年9月13日(木) 大和証券梅田支店ホール |
| 2 | [第25回食と健康セミナー] 循環器病は予防が大事 ～先手必勝の健康管理～ | 国立循環器病研究センター 予防健診部 部長 宮本恵宏 | 野村証券株式会社大阪支店 平成24年10月25日(火) 野村証券大阪支店2階ホール |

(5) キャンペーン

阪神甲子園球場において財団PRと予防啓発



(6) 共催・後援名義使用

(共催)

| | 催し物 | 主催者 | 日時・場所 |
|---|-------------------------------------|-------------------------|----------------------------------|
| 1 | 第15回脳卒中市民シンポジウムおよび平成24年度脳卒中週間ポスター事業 | 社団法人日本脳卒中協会 理事長 山口武典 | 平成24年5月26日(土) サンポートホール高松・大ホール |

(後援)

| | 催し物 | 主催者 | 日時・場所 |
|---|--|---------------------------|----------------------------------|
| 2 | 第4回国循市民公開講座 『知ってることで救われる—脳卒中—』 | 国立循環器病研究センター 理事長 橋本信夫 | 平成24年12月16日(日) 千里ライフサイエンスセンター |
| 3 | 第5回国循市民公開講座 『心臓病を予防する：運動療法と心臓リハビリテーション』 | 国立循環器病研究センター 理事長 橋本信夫 | 平成25年2月24日(日) 池田市民文化会館・小ホール |
| 4 | エコー淡路2013 | エコー淡路2013 代表 松尾 汎・佐田政隆 | 平成25年3月2日(土)~3日(日) 淡路夢舞台国際会議場 |

【3】国庫補助金事業（特別会計Ⅰ）**(22,734千円)**

厚生労働科学研究（循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究）推進事業

| | 事業区分 | 支出額 | 積算内訳 |
|---|-------------|---------|-----------------------------------|
| 1 | 外国人研究者招へい事業 | 1,094千円 | 1人（10日間） |
| 2 | 外国への日本人派遣事業 | - | |
| 3 | 若手研究者育成活用事業 | 8,555千円 | 1人×12ヶ月／1人×6ヶ月、 |
| 4 | 研究成果等普及啓発事業 | 7,429千円 | ・研究者向け発表会：2日間（40件） ・一般向け発表会：3件 |
| 5 | 研究支援者等活用事業 | 3,721千円 | 1人×12ヶ月 |
| 6 | （補助金余剰金） | 1,935千円 | 厚生労働省へ返還 |